

東京都自転車総合対策検討会 緊急アピール

自転車は身近で便利な乗り物です。車のように排気ガスを出さず、地球の環境にやさしい乗り物です。しかも自転車は健康によい乗り物です。

しかし、最近、自転車での交通事故が増えてきています。信号を無視したり、道路に飛び出したりして、残念ながら亡くなってしまう中学生もいます。

また、マナーの悪さが気になる生徒もいます。歩道を自転車で猛スピードで走行したり、二人乗りしたりすると、高齢者や幼い子どもたちは安心して歩くことができません。

そこで、わたしたち東京都自転車総合対策検討会は、自転車に乗る人にこれだけは守ってほしいルールやマナーについて、7つの項目の緊急アピールを考えました。

自転車がこれからも便利で私たちの生活を支える素晴らしい乗り物であるために、中学生の皆さんにも、この7つのアピールを守っていただきますよう、お願いします。

<中学生の皆さんへ 自転車利用に関する緊急アピール>

歩道でスピードをだしたり、乱暴な運転をしたりしないようにしましょう。

二人乗りや、携帯電話で話しながら乗ること、友達と横に並んで走ることは、たいへん危険で、みんなの迷惑になるので絶対にやめよう。

車道を走るときは左側を走ろう。右側を走るとは、たいへん危険で、法律違反になるのでやめよう。

交差点では、信号を守り、いったん止まって左右の安全を確認しよう。

夜は必ずライトをつけよう。夕暮れどきも、早めにライトをつけよう。

自転車をとめるときは、道路にとめず、駐輪場に入れて、鍵をかけよう。

年に1回は自転車の点検・整備をしよう。万一の事故に備えて、賠償責任保険に加入することを、家族に相談してみよう。

平成19年1月29日

東京都自転車総合対策検討会 委員長 太田勝敏